
高校生の時間外廊道（じかんがいろうどう）

よみよみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

高校生の時間外廊道^{じかんがいろどう}

【Nコード】

N4985Z

【作者名】

よみよみ

【あらすじ】

普通の高校生、愛田千秋に届いた一通のメール。それが全ての始まりだった。

第1話 一通のメール（前書き）

この作品はフィクションです。実際の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

第1話 一通のメール

4月6日のこと……

俺の睡眠を邪魔したのは、いつもの目覚まし時計のうるさいアラームでは無く、一つメールの着信だった。

ブーン、ブーン、ブーンブーン！

俺の枕元で、これでもかと自己主張をする。人類の英知の結晶。

「あーうるさいな」誰だよ」こんな朝っぱらから、メールなどしてくる奴は」

部屋のカーテンの隙間からは、暖かそうな日の光が指しこんでいる。残念ながら、もう朝みたいだ。

携帯を開けて液晶画面に目をやると、6時58分をデジタルがとでも分かりやすく教えてくれた。いつも起きるのは7時ジャスト。どうやら、もう2度寝をしている暇は、無いみたいだ。俺は一つのため息を漏らす。

携帯の画面には、新着メール1件。

From 不明

Sud がんばれよ。

1日目ミッション。『踏ませるな、助ける』

はつきり言おう。訳が分からない。俺の睡眠時間2分を返せ

ジリジリジリジリ！

「うるせー！」

バン！

「あー今日は、ついて無い1日になりそうだ」

眠たい眼を右手の指で擦りながらをは、またため息混じりに呟いた。

朝の登校。俺は、通い慣れない道を自転車で走っている。確かにまだまだ新鮮さがある道だ。昨日が入学式だったのだから、当然の事だろう。中学の時の通学に比べて、風を切る感覚が気持ち居と思うのは、新生活のスタートと言う出来事が加担しているのかもしれない。

だが、俺は余り新生活に期待はしないように心がけている。本来なら、もっと新生活らしく、ウキウキとしていたほうが良いのかもしれないが、変に期待すると、あとでの理想のギャップに耐えられない可能性もある。実際、中学の時もそんな事があったし、妙な期待は、しない方がいいだろう。俺は、同じ轍を二度も踏みたくはない。とはいえ、俺だって、全く期待していないのは、嘘になる。そりゃ高校生だし、彼女の1人でも作りたいなんて思っているのは此処だけ話だ。つまり俺は、何処にでもいる普通の高校生で在り、高校生らしい普通の日常をエンジョイする、そんなつもりだが、少し気になるのが朝のメールだ。

From 不明

Sud がんばれよ。

1日目ミッション。『踏ませるな、助ける』

何だ、この訳のわからない、文章は？ 新手のチェインメールだろうか？ それとも俺の悪友か誰かの悪戯だろうか？ 俺は頭の中で自分の身の回りに居る容疑者の顔を思い浮かべた。だとすると、一番怪しいのは

俺が学校に着き、自転車小屋へ我が愛車。まだ新車の19800円。命名『ギキユッパ』を駐車していると、校門の方から、馬鹿のように、いや間違った、馬鹿な容疑者第1号が大手を振ってこちらへ向かって自転車を漕いで来る。

「よっおおー！ 愛ちゃん」

殴りたくなる笑顔で自転車を漕いでこちらへ向かって来る悪友に、

どうやら俺もそれなりの誠意を見せなきゃいけないか。

タタタッタ！ タタタッタ！

俺は、馬鹿に向かつて、走って行き、右腕で朝の挨拶のラリアットを食らわしてやった。

「グットモーニング！」

「ごふ！」

自転車から倒れ込み、その場に転倒する馬鹿。

「痛ててて」

俺は、ソイツを見降ろしながら、

「おい、そのあだ名で呼ぶなど、何度言ったら分かる？ 佐伯 利さえき とし

一俺の名前は、愛田あいだ 千秋ちあきだと、あと何回言えば、その頭で理解出来る？ 中学高三年間でお前は、何を学んできた？」

親指を立て利一は、

「お前の好きなものからスリーサイズまで覚えて来たぜ」

「……楽に逝けると思うなよ」

俺がコイツにいつものノリで殴ろうとした時、俺達の目の前に、制服を着て分厚い黒い本を持っていて、微笑んでいる、長髪の子生徒が

かつ、可愛い

「通行の邪魔よ、消え失せなさい、ゴミクス共」

「……………」

時が止まった気がした。

俺達に女子とは思えない言葉を吐き捨てると昇降口へと消えて行った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4985z/>

高校生の時間外廊道（じかんがいろうどう）

2011年12月16日22時59分発行